

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)柏冷凍冷蔵倉庫開発PJ

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質							2.9	
Q1 室内環境				0.30		-	3.2	
1 音環境			3.3	0.15	-	-	3.3	
1.1 室内騒音レベル			3.0	0.40	-	-		
1.2 遮音			3.4	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能		界壁遮音性能 Dr-40	3.0	0.60	-	-		
2 界壁遮音性能			4.0	0.40	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	-	-		
1.3 吸音		床、天井の二面に吸音材を使用	4.0	0.20	-	-		
2 温熱環境			2.5	0.35	-	-	2.5	
2.1 室温制御			3.2	0.50	-	-		
1 室温		Low-eガラスを採用	3.0	0.38	-	-		
2 外皮性能			4.0	0.25	-	-		
3 ゾーン別制御性			3.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御			3.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式			1.0	0.30	-	-		
3 光・視環境			3.1	0.25	-	-	3.1	
3.1 昼光利用			3.0	0.30	-	-		
1 昼光率			3.0	0.60	-	-		
2 方位別開口			-	-	-	-		
3 昼光利用設備			3.0	0.40	-	-		
3.2 グレア対策			3.0	0.30	-	-		
1 昼光制御			3.0	1.00	-	-		
3.3 照度		全館照明方式で平均照度700lx	4.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御			3.0	0.25	-	-		
4 空気質環境			4.3	0.25	-	-	4.3	
4.1 発生源対策			4.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質		全面的にF☆☆☆☆及び規制対象外の建材を採用	4.0	1.00	-	-		
4.2 換気			4.3	0.30	-	-		
1 換気量		建築基準法の1.4倍以上の換気量を確保	5.0	0.33	-	-		
2 自然換気性能		事務室面積の1/15以上の開閉可能な窓を確保している	5.0	0.33	-	-		
3 取り入れ外気への配慮			3.0	0.33	-	-		
4.3 運用管理			5.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視			-	-	-	-		
2 喫煙の制御		館内全面禁煙	5.0	1.00	-	-		
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-	3.3	
1 機能性			2.9	0.40	-	-	2.9	
1.1 機能性・使いやすさ			2.6	0.40	-	-		
1 広さ・収納性		1人当たりの執務スペースは12㎡以上	5.0	0.33	-	-		
2 高度情報通信設備対応			2.0	0.33	-	-		
3 バリアフリー計画			1.0	0.33	-	-		
1.2 心理性・快適性			2.6	0.30	-	-		
1 広さ感・景観		天井高は3.0m	5.0	0.33	-	-		
2 リフレッシュスペース			2.0	0.33	-	-		
3 内装計画			1.0	0.33	-	-		
1.3 維持管理			3.5	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		防汚性の高い床材や壁材の採用、金属部分の防錆対策の実施等	4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保			3.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性			3.1	0.30	-	-	3.1	
2.1 耐震・免震・制震・制振			3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能			3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数			3.4	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		タイルカーペットや岩綿吸音板等の採用	2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			5.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種の2種以上にBを使用し、Eは使用していない	5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性			3.2	0.20	-	-		
1 空調・換気設備			3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備			3.0	0.20	-	-		
3 電気設備			3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		重要設備機器について耐震クラスAで計画	4.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備			3.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	最も階高が低い階でも、階高は7.0mを確保	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.153	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり		倉庫の床積載荷重: 15000N/m ²	5.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.6
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.13	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.89	2.5	0.63	-	-	2.5
4 効率的運用			3.0	0.25	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		自動水栓等に加えて、節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.5	0.60	-	-	3.5
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	ビニル床シート、タイルカーペット	4.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み	躯体と仕上げ材の分別が容易、フリーアクセスフロアを採用	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ノンフロン断熱材を使用	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		排出率=95%	3.2	0.33	-	-	3.2
2 地域環境への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止		燃焼機器の設置はない	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	行政指導はないが雨水流出抑制対策を実施している	4.0	0.25	-	-	
2	污水处理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐輪場及び駐車場の確保、荷捌き駐車場の確保等	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.50	-	-	
2	振動		3.0	0.50	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインの過半を満足	4.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	